

今号の作業

ヘッドライトを完成させる

今号では、ヘッドライトケースにリムやレンズを取り付けて、ヘッドライトを完成させる。また、フロントフォークの左右にリフレクターを取り付ける作業を行う。注意しなければならないのは、ヘッドライト用LEDから出ているコードの取り扱いだ。工程の①～④は特に注意を要するので、断線によるトラブルを防ぐためにも慎重な作業を心掛けよう。

今号のパーツ



- ①ヘッドライトリム×1(※)
- ②ヘッドライトリムインナー×1(※)
- ③ヘッドライトシールドビーム×1
- ④ヘッドライトレンズ×1
- ⑤フロントリフレクターベース×2
- ⑥リフレクターレンズホルダー×2
- ⑦フロントリフレクターレンズ×2

※①と②は、組み付けた状態で提供されます。

※⑤⑥⑦は左右共通パーツです。

※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様が異なる場合があります。

使用する道具

・ピンセット

用意するもの

・フロントフォーク
(7号で組み立てたもの)

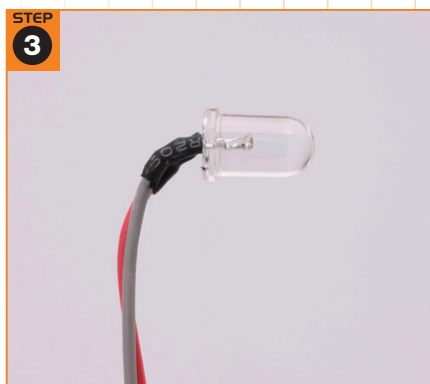
ヘッドライトLEDを交換しSTEP6から進めてください



ヘッドライトケースの中に組み込まれているLEDをゆっくりと5cm程度引き出す。このとき、透明な発光部ではなく、コードをつまむようにする。ケース後方から出ているコードは黒いチューブに包まれているので、そのチューブ自体を軽く押さえておこう。



引き出したLEDの底面からは2本のコードが出ている。その付け根部分に指の腹部分を当て、黒いチューブ全体に力を加えながら、ゆっくりと押し曲げる。コードやチューブをつまんで曲げると、中の金属線が断線してしまう恐れがあるので注意すること。



曲げ加工を終えたヘッドライト用LEDの状態。曲げる角度はこの程度でいい。くれぐれも“ゆっくり”と作業するように心掛けよう。



ヘッドライトケースの中にあるコードを整理する。まずケース後方から出ているコードを少しだけケース内に押し込んでおいておく。次に左右ウインカーから出ているコードをケースの下方に軽く押し下げておき、ヘッドライト用LEDのコードがその上を通るようにする。



ケース後方から出ているコードを包んでいる黒いチューブの端を軽くつまみ、白いコネクタが付いているコードをゆっくりと引く。ヘッドライト用LEDがケース内に引き込まれていくので、元の状態に戻すため5cm程度引く。



ヘッドライト用LEDを戻した状態。ケースには、コードを外へ出すための穴が開けられているが、ヘッドライト用LEDは穴の5mm程度上の位置に合わせる。また、左右ウインカー用コードは、写真のように少したるませておく。



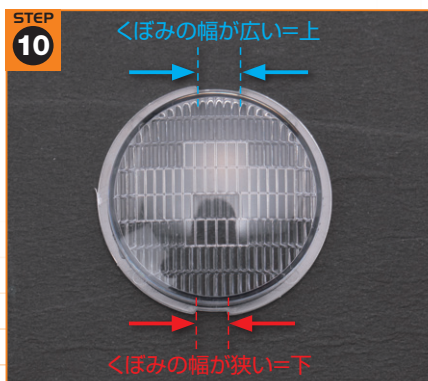
③ヘッドライトシールドビームの形状を確認しよう。写真のように、上下の縁にくぼみがあり、幅の広い方が上、狭い方が下側になる。



ヘッドライトシールドビーム下側のくぼみを、ヘッドライトケース内側下部にある突起に合わせる。続いて、ヘッドライトシールドビーム中央の穴にヘッドライト用LEDを合わせて差し込む。



ヘッドライトシールドビームの縁を軽く押し込みながら、ヘッドライトケース内側上部の突起にはめ込む。



今度は④ヘッドライトレンズの形状を確認しよう。ヘッドライトシールドビームと同様、くぼみ部分の幅の広い方が上、狭い方が下になる。



ヘッドライトレンズの上下を確認したら、ヘッドライトケースに合わせる。



ヘッドライトケース内側の上下に突起部分があるので、そこにヘッドライトレンズ上下のくぼみをはめ込む。

STEP
13



①ヘッドライトリムと②ヘッドライトリムインナーが外れていた場合は自分で組み立てよう。写真は両方とも裏面で、右が①ヘッドライトリム、左が②ヘッドライトリムインナーだ。リムは内側の上下に突起があり、インナーは外周の上下にくぼみがある。

STEP
14



ヘッドライトリムの内側に、ヘッドライトリムインナーをはめ込む。リムの突起部分にインナーのくぼみを合わせる。両方のパーツには表と裏があるので、写真を参照しよう。

STEP
15



上下の突起とくぼみを合わせたら、指先でインナーをリムに軽く押し込む。

STEP
16



インナーをはめ込んだら、インナーだけを左右のどちらかに1cm程度回す。こうすることでインナーがロックされて外れなくなる。

STEP
17



ヘッドライトケースの上下・外周部分にあるくぼみに、ヘッドライトリム内側上下の突起を合わせる。ヘッドライトリム自体に上下はなく、上下の突起を合わせればOKだ。

STEP
18



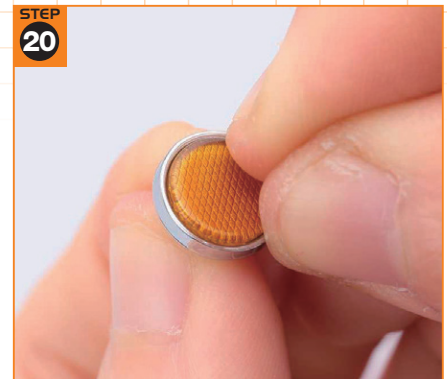
ヘッドライトリムの突起がヘッドライトケースのくぼみにはまったことを確認したら、ヘッドライトリムを真っすぐに押し込む。

STEP
19



ヘッドライトリムを押し込んだまま、3mm程度右に回す。こうすることで、ヘッドライトリムの突起がケース側の溝にはまってロックされる。無理に回す必要はないが、左右のウィンカーを壊さないように注意しよう。

STEP
20



⑥リフレクターレンズホルダーの上面中央にリフレクターレンズをのせる。レンズがホルダーの中心になるよう、指先で位置を調整してから押し付ける。



⑤フロントリフレクターベースの穴に、リフレクターレンズホルダー裏面のピンを差し込む。⑳の工程を参考に計2組作る。



フロントフォーク左のブーツの上にある穴に、リフレクターを合わせる。



リフレクターベース裏から突き出したピンをフォークの穴に差し込み、リフレクターレンズの上から真っすぐに押し込む。



フロントフォーク右側も、㉒の工程と同じように位置を合わせて取り付けよう。



リフレクターベース裏から突き出したピンをフォークの穴に差し込み、リフレクターレンズの上から真っすぐに押し込む。

今号の完成



これで今回の作業は完了となる。ヘッドライトが組み上がり、より一層のリアリティーが感じ取れるはずだ。なお、冒頭でも触れている通り「LEDから出ているコードの取り扱い」にはくれぐれも注意してもらいたい。無理に引っ張ると中の金属線が切れてしまい、せっかくの電飾ギミックが楽しめなくなってしまう恐れがあるからだ。組み立てた後は大切に保管し、次回の作業に備えよう。